

**平成27年度**

**人権啓発研修  
ビデオ・DVD教材一覧**

**【 守山市役所 商工観光課 】**

## ビデオ教材一覧

タイトル	時間	内 容
1 <b>「あなたと私対等なパートナー」</b> 企画：21世紀職業財団 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">セクハラ</span>	24分	職場での女性の悩みをショートドラマにデーターやインタビューを織り込みながら、どういう場合にどういう行為がセクハラになるか総合的に学ぶことができる学習ビデオ。 予防対策の方法もしっかり取り組んでいる企業の例を紹介することにより学ぶことができる。
2 <b>「ザ・会社」</b> ～えせ同和行為をなくすために～ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同和問題</span>	30分	工事の下請けの発注を強要するえせ同和団体と企業の対応を描くドラマ。 えせ同和行為は同和問題の間違った理解を利用する行為であり、同和問題の解決を遅らせるものである。 安易な解決をすることなく、毅然とした態度で向かうことの重要性を建築会社を舞台にドラマ仕立にしている。
3 <b>「匠の技・皮革」</b> 企画：滋賀県商工観光労働部 部落解放滋賀県皮革製品フェア運営委員会 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同和問題</span>	29分	皮革産業に携わってきた人々の歴史を通して、部落の成り立ちから現代に至るまでを学ぶことができるドキュメンタリー。 愛知川の太鼓作り、近江八幡市の履物作りなど、滋賀の皮革産業を詳しく取り上げている。
5 <b>「心ひらくとき」</b> 川上麻衣子 三浦浩一 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人権問題</span> 1999	55分	人権って何だろう……。この物語の主人公は、その答えを探るべく「人が幸せになる権利」という視点から、人権問題の取材を進めていく。そして、改めて日常の中に見えかくれする差別や偏見に気付く。また自分も妊娠という出来事を通して、心の在り方や生き方について考えるようになる。 この映画では、人権を身近なものとして感じるきっかけとなるように、いろいろな人権を描いている。 <u>自分が正しいと思っていることは、本当に正しいのか、自分も誰かのことを傷つけてはいないか</u> ……。

6	<p>「<b>勇気への出発</b>」</p> <p>黒沢年男、赤座美代子、佐川満男、正司照江、下川辰平</p> <p><b>人権問題</b></p> <p>1999</p>	44分	<p>差別は悪いと思っけていても、自分が差別に直面した時、隠れていた偏見や差別意識があらわになる人や問題の解決に努力する人など人間の強さと弱さを浮き彫りにしている。この作品は、人と人の出会いの中で差別に気づくことから差別をゆるさない厳しさを、そして差別をなくす営みへと、全ての人達の意識が変わっていく為の「本当の勇気とは何か」とを問いかけている。</p>
7	<p>「<b>風化からの告発</b>」</p> <p>身元調査を考える！</p> <p><b>同和問題</b></p> <p>1999</p>	32分	<p>差別の現実から学ぶ人権啓発ドキュメント。</p> <p>1975年の部落地名総監事件から20余年、企業と市民の差別意識を鋭く問う。</p>
8	<p>「<b>心の壁</b>」</p> <p>新 克利, 穂積隆信、三上真一郎、風見しんご、露の五郎、こだま愛</p> <p><b>同和問題</b></p> <p>2000</p>	54分	<p>今日の社会には、部落差別を始めとする様々な差別が存在しており、企業でも差別の解消を目指し、人権意識を高める啓発活動が行われている。<u>同和問題推進員になった主人公が、企業や社会に残る差別意識や偏見の中で苦悩する。</u>かつて差別の現実から逃げた主人公が、自らの意識を変革し、職場の意識も変えていこうとする。その中で何を学んでいくのか。何をすべきなのか。その生き方を描くことにより、今日の人権問題を考える手掛かりを提供する。</p>
9	<p>「<b>元気あります</b>」</p> <p><b>人権問題</b></p> <p>2000</p>	53分	<p>社内の人権研修の担当者である主人公が社内にある差別意識に気づき、仲間達の協力を求めながら人権問題に立ち向かっていく。</p>
10	<p>「<b>それぞれの明日</b>」</p> <p>杉田かおる他</p> <p><b>同和問題</b></p> <p><b>人権問題</b></p> <p>2001</p>	50分	<p>シガエレクトロニクス的人事課長・結城浩は、担当する同和問題研修会にいつも不参加の商品開発課を説得するため、主任・香坂京子に交渉しつづけていた。一方、車椅子で通勤する資材課 水野広美、日系ペルー人労働者・カルロスは、それぞれ障害者、外国人というハンデを背負って社内で奮闘していた。</p> <p>ある日、カルロスは差別落書きを発見、部落差別への素朴な疑問を抱き始める。落書き犯人は、同和地区に住んでいたことから、地区の人間と間違われ、まとまりかけた結婚話が破談になった経験があった。</p> <p>この映画は、企業内で発生した部落差別、外国人労働者差別、障害者差別の三つの差別事例をテーマとし、人権尊重への強い志向を提示する。</p>

11	<p>「風かよう道」</p> <p>高橋元太郎 三島ゆり子</p> <p>人権問題 同和問題 2001</p>	35分	<p>この作品は、古い因習にとらわれている主婦とその家族を通して、六曜、占い、穢れ等が差別意識を形成する土壌となっていることを提起しながら、今日的な問題であるコンピューターを悪用した差別事件も絡めて展開する。鑑賞するだけで終わらない、人権・同和問題において学習すべき問題点をしっかり提起する教材用ドラマとして制作。</p> <p>部落差別をはじめとする様々な差別において、自分が不当性を感じていても「世間からどう見られるのだろう」と他人の目を意識するあまり差別者になってしまうことがある。世間の間違った考え方に惑わされず、人権尊重の信念を持って主体的に判断することが大切。</p>
12	<p>「私自身を見て下さい」</p> <p>人権問題 2001</p> <p>&lt;学習の手引き有り&gt;</p>	27分	<p>暮らしの中にある身近な固定観念・ステレオタイプ・偏見をドラマと解説部の2部構成で問題提起している新しいタイプのビデオ教材。人権問題を総合系統的に学習するために最適である。</p>
13	<p>「心のメガネ曇ってませんか？」</p> <p>人権問題 2001</p>	20分	<p>いま、私たちのまわりにある人権問題の多くは、誤った<u>思い込みや偏見</u>が一つの原因になっている場合が多い。この映画では、<u>日常生活の中にみられるいくつかの事例を紹介して、思い込みや偏見がどうして形成されていくのか、どうすればそれをなくしていけるのか</u>を考えてもらうために制作された。</p>
14	<p>「明日があるから」</p> <p>三条美紀他</p> <p>同和問題 2001</p>	28分	<p>同和問題をはじめあらゆる差別を無くし、人権尊重の精神を高めると共に一人でも多くの方の心から先入観が無くなることを願った心温まる作品。</p>
15	<p>「もう一人の私」</p> <p>人権問題 個人情報保護 2002</p> <p>&lt;学習の手引有り&gt;</p>	27分	<p>暮らしの中にある身近なプライバシー問題をドラマと解説部の2部構成で問題提起している新しいタイプのビデオ教材。<u>個人情報保護</u>をテーマに私たちの人権について学習教材人権研修やワークショップでの活用に最適である。ある小さな貿易会社出の出来事、取引会社の社員住所録、飲み会などの連絡網づくり、訃報、採用調査等、他人の人権に鈍感だと、めぐりめぐって、自分の人権も危うくなることに気づく。</p>

16	<p>「マイ・プロジェクト」</p> <p>人権問題 2003 ＜二巻＞</p>	60分	<p>この映画は、企業で職場研修を行う際に教材として広く活用され、すべての人の人権が尊重される職場づくりに役立てていただくことを目的に制作した。</p> <p>研修目的に応じて活用していただけるように2つのそれぞれのストーリーからなる「オムニバス形式」で構成している。</p> <p>「総務部 栗原恵の提案」では、<u>職場内でのいじめ、セクハラ、応募者の公正な採用選考、個人情報の取り扱い</u>をめぐり、様々な人権問題にぶつかり、解決に向けあゆみ始める。</p> <p>「営業所長 二宮敏之の決断」では、企業の同和問題、男女共同参画問題や<u>インターネットを悪用した人権侵害</u>に対する取り組みが、営業所一人一人に広がっていく。</p>
17	<p>「人権に向き合うための6つの素材」</p> <p>～街に、暮らしに、あなたとなり～</p> <p>人権問題 2003</p>	25分	<p>何か問題があった時にはじめてでてくる「人権」ではなく、日頃から行動していく時の基準として人権を意識していくことが大切。このビデオでは、<u>誰の生活の中にも人権がある</u>ことを考えていただくことを目指している。</p> <p>ドメスティックバイオレンス、高齢者、障害者、報道被害、HV 感染者等 同和問題。</p>
18	<p>「私のない私」</p> <p>人権問題 2003 ＜学習の手引き有り＞</p>	30分	<p>人権侵害に気づいているのに行動できない私。行動を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説の2部構成で問題提起している。両親の言いつけを守り、まじめに働く主人公は、周囲で起こる事件の前で、おかしいと思いつつも、上司に睨まれることを恐れて「俺には関係ないこと」とながれにみをまかせてしまうが・・・</p> <p>ドラマ部：ある食品会社出の出来事。<u>ライバル会社が賞味期限などの不正表示問題などで自滅</u>。営業活動をめぐる部落差別、取引先との関係で起こる不当配転、上司によるセクハラ、製造現場における不正表示問題など、<u>社員が同調・傍観することで、会社はついに破局を迎える</u>。</p> <p>解説部：「長いものには巻かれる」「寄らば大樹の陰」ということわざ、たとえ防いだと思っても、力関係から、それを受け入れて同調する、見て見ぬふりをするということがある。それを克服するための社会システムとひとり一人の生き方、コミュニケーションスキルを学ぶ。</p>
19	<p>「善良な人々」</p> <p>五十嵐めぐみ 勝野 洋</p> <p>人権問題 2003</p>	56分	<p>差別は日常の中に、しかも善意の中にも存在する。その日常を問題にしない限り、差別の正体に近づくことができないということから、家族の日常を異なる観点から、三話のオムニバス形式で描いている。どこにでもある善意、それを疑うことから始める、これがこの映画のひとつの問題提起である。</p>

20	<p>「ソーテサワサワ」 ～人間の価値はみな同じ～</p> <p><b>人権問題 人種差別</b> 2004</p> <p>&lt;学習の手引き有り&gt;</p>	34分	<p>言葉も文化も異なる日本で暮らすタンザニア出身の女性フィデアさん、外国人排除に対し「私たちみな同じ」という願いを込めて贈る言葉「ソーテサワサワ」<u>人間の価値は、みな同じ。みないっしょ。</u></p>
21	<p>「そっとしておけば・・・」 ～寝た子を起こすなという考え方～</p> <p><b>同和問題</b> 2004</p> <p>&lt;学習の手引き有り&gt;</p>	36分	<p>「そっとしておけば自然と差別がなくなる」という考え方は、根強く存在している。</p> <p>部落問題の解決にとって、古くて新しい課題だ。考えることと、話し合うことを大切にしたい人権研修やワークショップでの活用に最適な、新しいタイプのビデオ教材である。『隠して生きる』事の精神的負担や苦痛について語り合うが・・・。</p>
22	<p>「壁のないまち」</p> <p><b>障害者問題</b> 2005</p>	35分	<p>私たちのまわりでは、障害のある人への差別があり、自立と社会参加が阻まれることもある。この背景には私たちの心のどこかに障害のある人を特別視したり、排除したりする意識、いわゆる「こころの壁」のあることが考えられる。</p> <p>主人公が交通事故により障害者となったことから、社会の差別に気づく。障害のある人もない人もみんなが安心して元気に暮らせるまちについて考えよう。</p>
23	<p>「人権入門」 ～日常から考える 10のヒント～</p> <p><b>人権問題</b> 2005</p>	23分	<p>「人権という言葉聞いて、自分とは関係ない話、人ごとと考える人は多いのではないのでしょうか。しかし、生活を人権的な視点で見直してみると、実は、日常のいろいろな場面で私たちは人権問題と深く関わりを持っていることに気づきます。このビデオは、ある男性の一日を追うものですが、その一日の出来事の中で、「人権を考える10のチェックポイント」を用意し、日常の中の身近な人権を改めて考えていきます。それぞれが、ごく日常におこりうるような、誰の胸にも思い当たるような事柄です。こうしたチェックポイントを積み重ね、いろいろな角度から日常のなかの人権へ切り込んでいきます。</p>

24	<p>「ステップ！」 (平成 16 年度ストーリー公募作品より)</p> <p><b>障害者問題</b> 2005</p>	5 4 分	<p>障害のある女性八重が自分の生き方を見つけていく中、まわりの人々が八重の障害について正しく理解する姿をとおして、障害者と共生する社会の実現について考えるきっかけとする。</p>
25	<p>「紡ぎだす未来」 ～共に生きる～</p> <p><b>人権問題</b> 2007</p>	3 5 分	<p>被差別部落出身者、在日コリアン、日本に住む外国人、同性愛者一。身近にいるかもしれない被差別当事者の日々の想いをドラマで描いています。</p> <p>また、様々な立場を演じた出演者がメッセージを語ります。気づき、知り、想いを馳せて自分をみつめる。お互いの人権を尊重するためにはどうすればいいか。「こんな考え方もできる」というヒントを示します。</p>
26	<p>「企業に求められる人権意識とは？」</p> <p><b>企業の社会的責任</b> 2006</p>	2 4 分	<p>企業が社会の中で果すべき責任はますます大きくなっています。企業には、単に利潤だけを追求するのではなく、より良い社会を築くために努力することが求められています。安全で安心な社会を作るためには、企業の社会的な取り組みは不可欠です。特に、優れた人権意識を持つことは企業が成長するためには必須の条件です。この作品は、企業に求められる人権意識のあり方を、若い社員の目を通してわかりやすく描き、問題提起するものです。</p>
27	<p>「働きやすい職場をめざして」 ～こころの健康と人権～</p> <p><b>人権問題</b> 2007</p>	2 5 分	<p>職場で、うつ病を中心とするこころの病にかかる人が増えています。主な原因として、職場での人間関係によるストレスがあげられています。こころの病は、誰にでもなりうる病気であり他人事ではありません。このビデオでは、ストレスを生む職場とはどういう職場なのか。また皆がいきいきと働きやすい職場にするために、どういった事に配慮をすればよいのかを職場全体で話し合えるよう企画してあります。</p>
28	<p>「人権を行動する」 ～その時あなたはどうしますか？～</p> <p><b>人権問題</b> 2007</p>	2 5 分	<p>この作品では、セクシュアル・ハラスメント、個人情報保護、部落差別の三つのケースを設定して、みなさんに行動するかしないかの分岐点を提示します。その時、自分なりにどのように行動できるか、できないか、そしてその理由を考える中で人権をいかに行動につなげていくかを考えていきます。ビデオの巻末には自分自身を振り返るための素材として簡単なチェックリストが付けてあります。その時あなたはどうか？一緒に考えてみませんか。</p>

29	<p>「パワー・ハラスメントと人権」 ～見直そう、職業と家庭の人間関係～</p> <p style="text-align: center;"><b>人権問題</b> 2008</p> <p>&lt;学習の手引き有り&gt;</p>	43分	<p>今、対応が求められているパワー・ハラスメント(職場のいじめ)。これは、個人の問題ではなく、組織・社会の問題である。社会構造の変化によりストレスや葛藤を抱え、余裕のない職場、人々の余裕のなさや傷ついた感情は、職場や家庭で自分より弱いと認定した誰かに対する攻撃へと、そのはけ口を求める。本作は、職場において行われる精神的な暴力であるパワハラを、家庭との関係やその影響も含めて、被害者と加害者双方の視点から描いた、これまでにない研修用ビデオです。</p>
----	--	-----	---

## DVD 教材一覧

30	<p>「えっ！これも人権？」 ～4コマ劇場より～</p> <p style="text-align: center;"><b>人権問題</b> 2008</p> <p>DVD</p>	30分	<p>この作品は、日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づく4コママンガと実写でわかりやすく構成されています。「人権」＝「〇〇」。あなたなら人権という言葉はどう置き換えますか。誰にとっても大切な人権、それは「愛」でもあり「やさしさ」でもあります。そう考えると、「人権」は決して難しいものではありません。フィクションだけどありがちな風景をいっしょに考えて見ましょう。</p>
31	<p>白紙のページ ～食肉と私たちの矛盾～</p> <p style="text-align: center;"><b>同和問題</b> 2009</p> <p>DVD</p>	29分	<p>食肉を支えている人々の思いを取材し、食卓に「肉」が供せられるまでの過程の記録を通して食の安全について改めて考えようとする素材を提供するものです。食文化を支える屠畜、食肉の変化や安全、差別や偏見・・・考えて見ましょう。</p>
32	<p>「職場の人権」 ～相手の気持ちを考える～</p> <p style="text-align: center;"><b>人権問題</b> 2008</p> <p>&lt;解説書有り&gt; DVD</p>	27分	<p>この作品は、一連のドラマの中に6つのテーマを内包しています。職場で身近に起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示してゆきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 派遣社員のきもち、正社員のきもち</li> <li>② 上司のきもち、部下のきもち</li> <li>③ 女のきもち、男のきもち</li> <li>④ きもちを想像する</li> <li>⑤ きもちを伝える、受け取る</li> <li>⑥ ダイバーシティ</li> </ol>



33	<p>今、地域社会と 職場の人権は！</p> <p style="text-align: right;">人権問題</p> <p>DVD</p>	36分	<p>本作品は「増え続ける高齢者の人権問題」「子育てする女性の問題」「パワ・セク・ハラスメントの問題」「同和問題」に視点をあて、だれもが地域と職場で、自分の持っている能力や個性を發揮し、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかけています。そして、皆が『いきいきと安全で安心できる社会』の取り組みと、共に支えあう「共生社会」の実現をめざす人権問題学習教材用ドラマです。</p>
34	<p>Jun&amp;Keiの 企業と人権</p> <p style="text-align: right;">人権問題</p> <p>DVD</p>	30分	<p>人権漫才を取り入れたユニークな手法で人権を身近に考えていくためのヒントを与えてくれます。5つのテーマを取り上げています。</p> <p>●個人情報 ●男性・女性 ●障害者 ●外国人 ●部落差別</p>
35	<p>部落の心を伝えたい シリーズ 第12巻 若い力は今</p> <p style="text-align: right;">同和問題</p> <p>DVD</p>	30分	<p>10代のときに職場で受けた差別体験をきっかけに、部落について何も知らない自分を見つめ直すことから吉岡綾さんの解放運動は始まりました。若さ溢れる熱い語りに講演依頼が相次ぎ、大きな反響を呼んでいます。「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さんの活動の軌跡です。</p>
36	<p>職場の日常から考える パワーハラスメント</p> <p style="text-align: right;">パワハラ</p> <p>DVD</p>	28分	<p>ある会社で起こる様々な出来事を一本のドラマで描き、多様化する「職場のパワーハラスメント」の問題に切り込んだ作品です。このドラマでは、暴力や暴言といった従来型のパワハラは取り上げていません。むしろパワハラなのかそうでないのか、線引きが難しい事例を中心に描いています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 パワハラのもともとの場所</li> <li>2 見えない・気づかないパワハラ</li> <li>3 誰もがパワーを持っている</li> <li>4 パワハラのない職場を目指して</li> </ol>
37	<p>構えない 隠さない 飾らない ～障害者雇用最前線～</p> <p style="text-align: right;">障がい者</p> <p>DVD</p>	36分	<p>特例子会社から地域の独立企業、街の洋菓子店まで、自前の知恵と工夫で障がい者雇用に取り組む7事例を取材。決められたから守る、義務だからやるという消極姿勢とは無縁に、障がい者の隠れた「能力」豊かな「才能」に気づき、引き出し、戦力化するための具体策を紹介しています。</p>

38	<p>忙しい「現場」のための セクシュアル・ハラ スメント対策</p> <p style="text-align: center;">セクハラ</p> <p>DVD</p>	24分	<p>製造の現場編と営業の現場編の2部構成のDVDです。</p> <p>■製造の現場編では、工場を舞台に、見返りをほのめかしながら、頻繁に女性の従業員を食事やお酒に誘い出そうとする男性社員のケースを扱っています。</p> <p>■営業の現場編では地方営業所を舞台に、“女”を武器にするような顧客へのアプローチ方法を、嫌がる女性社員に強制しようとする営業所長のケースを扱っています。</p> <p>各話12分で、朝礼やミーティングで視聴できるよう、短い時間でまとめられています。</p>
39	<p>元気な職場をつくる メンタルヘルス3</p> <p style="text-align: center;">メンタルヘルス</p> <p>DVD</p>	24分	<p>同僚・後輩・取引先などとの、日常的なコミュニケーション不全の事例から、どのようなエゴグラムの傾向がストレスとなるのかを解説し、誰にでもすぐできるタイプ別の解決策を紹介しています。エゴグラムの活用を通して、自分のストレス傾向への気づきを促す教材です。</p> <p>※エゴグラムは、「交流分析」という人間関係の心理学理論に基づいてつくられた性格診断テストです。</p>
40	<p>元気な職場をつくる メンタルヘルス5</p> <p style="text-align: center;">メンタルヘルス</p> <p>DVD</p>	25分	<p>働く人のメンタルヘルス対策の基本は、自分で自分の健康を守る「セルフケア」です。労働者を取り巻くストレスとストレスを悪化させる要因、疾病の関係をストレスモデルで解説し、労働者自らがセルフケア対策の主役との認識を深め対処するための教材です。</p>
41	<p>「秋桜の咲く日」</p> <p style="text-align: center;">メンタルヘルス</p> <p>DVD</p>	24分	<p>「違い」を認めないことによって、差別は始まるといえます。人はそれぞれ違うものなのに、ちがうということだけでその人を排除してしまう傾向が人間にはあります。違いを理解し、認め合うことが大切であることはもちろん、本当に全ての人の人権が尊重される社会とは、それぞれの違いを活かすことのできる社会だといえるのではないのでしょうか。この映画は発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーをコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えるための教材です。</p>